

## 世界大学ランキングトップクラスのアジア5大学の大学生が 日本の高校でグローバルな課題をテーマに出前講座を実施 ～ グローバルな高大連携が一步前進 ～

### <注目ポイント>

世界大学ランキングトップクラスのアジア5大学（先日、東京大学を抜いて世界26位、アジアトップとなったシンガポール国立大学をはじめ、44位の香港大学、その他、台湾大学、チュロンコン大学、マレーシアサバ大学）の大学生10名（各大学2名）が来日、日本の大学生（東京海洋大学）と一緒に、日本の高校生向けにグローバルな課題をテーマに出前講座を行います。対象は、高校1年生の女子生徒約280名。国内では各校で高大連携がなかなか進まない中、今回の出前講座の主催校である国立大学法人東京海洋大学は、アジア5か国の国際交流校とともに「**グローバルな高大連携**」に大きな一步を踏み出しました。

### <ニュースの背景を探る>

#### ■東京海洋大学が「世界大学ランキングで格上の相手」と次々に提携ができたワケ

東京海洋大学は海洋教育研究の総合大学であり、上海海洋大学、台湾海洋大学など、世界各地にある同様な海洋教育研究のパートナー大学との提携実績が多かったのですが、2012年にグローバル教育重視の方針に大学改革の舵を大きく切って以来、積極的に世界のトップ大学である総合大学との提携に踏み出しました。その結果、シンガポール国立大学、香港大学、台湾大学など、立て続けに提携に成功。その成功の背景には、2013年8月から開始した「**海外探検隊プログラム**」の存在があり、同プログラムには味の素、ヤクルト、ヤンマー、その他多くの日本を代表するグローバル企業の協力があり、それらの**グローバル企業の後ろ盾を得た東京海洋大学は、次々にアジアを代表する世界のトップ大学との提携を実現していったのです**。今では、「**東京海洋大学に入ればアジアのトップ大学に留学できる**」という評判が受験生や高校生の間でもたつようになり、同大学には将来グローバル人材を目指す若者が多数集まるようになりました。



### <アジアトップ大学による日本の高校での出前講座の日程>

日時 : **2015年10月30日(金) 13時～16時**  
会場 : **文京学院大学女子高等学校** (JR 山手線駒込駅より徒歩3分)  
東京都文京区本駒込 6-18-3 <http://www.hs.bgu.ac.jp/>

# 東京海洋大学海外探検隊 EAST プロジェクト ～グローバルな高大連携モデルの紹介～

## 1. はじめに～大学生出前講座の意義

通常、教育は「教育者から生徒へ」と提供されるものであり、後期中等教育や高等教育では、さらにその「専門化が進む」のが実情である。しかし、**教育者ではないはずの大学生が「自らの学び」、特にその中でも「グローバル体験に基づいた気づき」を高校生に伝えることは意義深く、「教えることでさらに深く学ぶ」ことができるのではないだろうか。**

実際、高校生と大学生が交流する場は極めて少ない。オープンキャンパスや学園祭等では交流があるかもしれないが、高校生にとってはあくまでも大学がどのような教育や研究の機会を提供しているか、大学でどのような学生生活を送ることができるかについて情報を集める場である。つまり、何か専門知識を「学ぶ」場ではないし、まして自分の言動を変えるようなインパクトのある「気づき」を得ることは、オープンキャンパスや学園祭には期待できない。

このように、大学生が高校生にフィードバックする機会がほとんどないという現状がある中で、このたび東京海洋大学の学生は貴重な機会に参加することになったため、その内容を報告したい。

それは**大学生が高校生に対して、自らが学ぶ専門知識をフィードバックする(教える)「高大連携学生プロジェクト」であり、「大学生出前講座」のコンセプトである。**これは東京海洋大学が進めるグローバル人材育成推進事業の中で重要な位置を占めており、海外探検隊プログラムの新プロジェクトとして始まったものである。

具体的には、**グローバル体験を積んだ大学生を高校に派遣し、「高校生が世界に目を向けるきっかけ」となるように、大学生が自分の体験を踏まえた授業を高校生相手に行うのである。**大学生自らが講師として授業を行うことは、「**大学で身につけた専門知識をより深く学び直す機会**」にもなる。また大学を卒業後、企業に就職し、いずれ新人教育係など、若手を指導することになった際も、高校生向けに授業を行った経験は生きてくるに違いない。高校生にとっても、大学生講師が行う授業を受けることにより大学教育をより身近に感じ、近い将来、自らの進学先を考える上で参考になるはずだ。自分が将来何を勉強したいのか、どんな仕事をしたいのか、具体的に考える事が出来るようになるだろう。他の利点には、大学生と高校生の年齢が近いことから、親しみやすく、お互いにフィードバックがしやすいこともあげられる。

以上のとおり、東京海洋大学では海外探検隊プログラムへの参加者（グローバル体験を積んだ学生）を母体として、**新たな高大連携モデルである「大学生出前講座」がスタートしているが、その中でも特に 2015年10月26日から10月30日の5日間で行われる海外探検隊 EAST プロジェクトについて詳しく紹介したい。**これは日本国内の高大連携にとどまらず、**言わば「グローバルな高大連携モデル」として注目してほしい。**

## 2. 海外探検隊プログラムとは

まず、東京海洋大学の海外探検隊プログラムを簡単に紹介する。この基本構想は同プログラムの開発者であり、担当教員である小松俊明教授が日本学生支援機構（JASSO）のウェブマガジン「留学交流」8月号の中で詳しくまとめているので、そちらを参照頂きたいが、3年目を迎えた現在までに、アジア5か国（香港、台湾、タイ、マレーシア、シンガポール）にパートナー大学を有し、2015年8月には5



JASSO 留学交流 8月号（小松俊明教授執筆）

<http://www.jasso.go.jp/about/webmagazine201508.html>

期生を派遣、延べ70名の学生が海外探検隊プログラムに参加している。これまでの交流では、本学の**学生が1か月間アジアに赴き、現地の大学や研究機関、日系企業で海外研修を行う**等、グローバルな体験を積んでいる。参加学生のフィードバックは、冊子「海外探検隊」I～IVの中でも詳しく記述があるように良好である。(参考：<http://www.kaiyodaiglobal.com/ebook/> )

このたび科学技術振興機構(JST)の日本・アジア青少年サイエンス交流計画に採択されたことを機に、これまで懸案としてきた**双方向の学生交流へ一歩前進**した。アジア5か国のパートナー大学から2名ずつ、計10名の学生を招聘することとし、アジア5大学と本学を含めた6大学で日本にて新たなプロジェクトを実施する運びとなった。その際に選んだ内容が前述した「大学生出前講座」であり、アジア6大学で実践する「海外探検隊 EAST プロジェクト」と命名し、**「グローバルな高大連携モデル」への挑戦**をすることになった。次に、海外探検隊 EAST プロジェクトを詳しく紹介することにしたい。(EASTとは、Environmental Awareness School Teaching の略。大学生が自ら学んだ専門知識を活かし、高校生の環境保全への意識が高まる授業を行う。)

### 3. 海外探検隊 EAST プロジェクトとは

海外探検隊 EAST プロジェクト(以下本プロジェクト)に関しては、小松俊明教授が前述の留学交流8月号の中で簡単に説明しているが、ここでは詳しく説明する。本プロジェクトの目標は、**アジア5大学10名に東京海洋大学の海外探検隊OB/OG 11名を合わせた21名を3名ずつ7チームに分け、チーム単位で環境教育の授業を設計し、出前講座を行う**ことにある。

各チームはアジア学生及び日本人学生によって構成され、チームリーダーはアジア学生が務めることとした。アジア学生は日本の高等学校教育や授業風景に関して全くイメージがないため、日本の高校の現場を知っている日本人学生が、授業設計にあたりチームリーダーとしっかりとコミュニケーションを取りプロジェクトを進めていく必要があることを意味している。このことは、**将来日本人学生が社会に出て、グローバルな環境で働くことを想定した場合に、上司の外国人と一緒に働くシーンをイメージしている。外国人、日本人双方の若者たちにとって、この機会は希少な経験となるはずだ。**

本プロジェクトでは、環境教育の授業設計をするために役立つように様々なフィールドワークを提供し、学生を指導するメンター教員も各チームに1人、配置している。東京海洋大学の練習船「やよい」に乗船する機会もあるが、この東京港内クルーズは日本が直面する環境問題に対する理解を深める機会となる。

プロジェクト最終日の前夜(10/29)には、学内にて授業設計報告会を開催する。各チームが設計した授業内容をお互いを知る良い機会であり、一般公開もされる。

そしてプロジェクト最終日(10/30)、都内にあるSSH/SGHアソシエイト校、文京学院大学女子高等学校において、アジア学生10名と海洋大生11名による「大学生出前講座」が行われる。

プロジェクト終了後、アジア学生は帰国するが、今回7チームで開発した授業内容は、今後、東京海洋大学が全国の高等学校に対して行う「大学生出前講座」で活用する予定である。同様に帰国後、**アジア学生にも「自国の高校生」相手に出前講座を継続して行うことを約束している。**

このように、アジア6大学で実践する「海外探検隊 EAST プロジェクト」は、「グローバルな高大連携モデル」の実現を意図して始まったが、今後も「大学生出前講座」の実績をさらにたくさん積んでいく。実際、国内ではすでに複数のスーパーグローバルハイスクールから本学への大学生出前講座の引き合いが寄せられている。そして言うまでもなく、**東京海洋大学海外探検隊は、日本の教育機関全体が「グローバルな高大連携」を実現するための牽引役となることを目指す。**

